

令和4年度 こども園（保育園）関係者評価

施設評価シート

子育てセンターひだまり

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和5年 2月 22日（水） 13:30 ~ 15:00 （ ひだまり遊戯室 ）

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 2名 地域委員 2名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

自己肯定感・貢献感・感謝の気持ちを育む
いきいきと活動できる子・おもいやりのある子・ありがとうの気持ちを表せる子

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

人と関わる心を育む
～生活や遊びの中で友だちと関わり、友だちの良いところを探そう～

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	3	・重点目標の取り組みについては4月の年度当初に保護者に説明を行い、書面にも表したことで職員、保護者共に理解をしていた。 ・取り組みについては、玄関先の「ほっこの木」に良いところを花に記入し、保護者や子ども達にも見える化を心掛けた。しかしながら、貼り出しの日時や期間が曖昧だったため、タイミングよく現すことが不十分であった。	4	・重点目標の説明が丁寧に行われたことで、保護者に理解していただいていた。 ・重点目標の取り組みについて、ほっこの木を玄関に置くことで、保護者にも子どもにも職員にも共通理解が出来て良かった。 ・園全体の雰囲気は温かく、友だちの良さを認めたり下の子に優しくする姿が見られた。 ・参観会や行事で、職員の皆さんが目的を抑えて活動していたことが理解できた。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	・指導計画については、学年ごとに話し合い作成することが出来た。 ・活動における具体的な取り組み方法や準備物等の環境設定については、もう少し深く話し合えるような時間調整が必要であった。 ・計画から実践をしたことの振り返りを行うが、次の活動へつなげる意識が低かったことや、計画から実践に移すまでに時間がかった。	4	・時間調整が難しい中で、計画や反省を熱心に行っていることが理解できた。 ・家庭ではなかなか経験できないことを園で経験できていたことは良い事であった。 ・コロナ禍であったが、様々な配慮をしつつ計画されていた。もう少しできたかもという職員の思いは汲むが、この環境下でよく工夫したことが分かった。 ・子どもが楽しく活動し、子どもの気持ちに寄り添った保育教育がなされていた。充実した課題であった。
III. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	4	・「いいことさがし」をすることで、なげない姿を褒めたり認めたりしながらその子らしさを出して生活を送ることが出来ていた。 ・散歩やリズム運動など異年齢の友達と関わる機会が増えた。 ・職場体験やボランティアを受け入れる機会増えたことで、子ども達にとって良い刺激となり、人との関わりを楽しむ姿があった。	4	・保護者アンケートからも、土日も園に通いたいなどの意見があり、園生活に満足している様子が読み取れた。 ・大人の事情で子どもを動かすことがないように配慮されていた。 ・行事の際、参加をためらう園児に寄り添い、その子の気持ちに沿って対応する姿があった。その子の立場に立って指導することが出来ていた。 ・自分も友だちも大事にすることができ、お互いを認めている様子があった。

<p>IV. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「一日せんせい」を実施することができ、送迎時には園内に保護者の方が入れるようになり、園での子どもの様子を見ていただくことで相談しやすい環境になった。 ・保護者とコミュニケーションを図るよう働きかけてはいるが、伝えるべき内容やタイミングがうまくいかないことがあり、保護者の要望とこちらの思いとが異なることがあった。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートでは、自分の子の目線になって答えるので100%満足にはならないが、色々な方のご意見を尊重し反映していくことは必要である。 ・園は精一杯やっていることも分かるが、一部の方のご意見も大事にしたいため、情報伝達の工夫はこれからの課題として捉えることよい。 ・大規模園で、保護者の方とコミュニケーションの取りづらさはあるかもしれないが、保護者の方が相談したい、話を聞いてほしいと思ってもらえる人的環境になっていると思う。
<p>V. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・いもほりやお茶摘み、草刈りなど、地域の方に協力してもらい、園児の教育保育活動に役立てることができた。 ・一時預かり事業や子育て支援センター事業など、地域の方が利用をしやすく相談ができる場所としての役割を果たすことができた。 ・行事の取り組みをブログであげることができたが、普段の様子や特色ある7つの活動についての情報発信に弱さがあった。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方による専門的な知識を活かしてもらい取り組みは、保育教育の面で経験豊かになり、子どもたちの糧になっている。 ・一時預かり、子育て支援センター事業などの子育て相談ができる場所があり、地域の方も心強く思ってくれている。 ・地域とのつながりを大事にしていることが分かった。地域としても園を大事に思っているため、もっと地域の力に頼ってもよい。
<p>VI. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・適材適所において得意なことを生かすことができ、お互いを認めあうことが出来ていた。 ・園内研修を行い、職員同士の話し合いをして意見交換をすることができ、色々な人の思いを知ったり自己覚知をすることができた。 ・季節ごとの行事について、絵本やゆかりのあるものを手作りして飾り子どもや保護者に伝えることができた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の仲の良さ、風通しの良さがうかがえた。 ・どの先生も同じ目標に向かい、先生方が生き生きと保育しコミュニケーションを取りながら明るく振る舞う姿は、子どもたちにも良い影響を与えている。 ・季節を感じる装飾がよい。一人一人の特性を活かしている。